

平成 2 1 年度 第 2 回 天草地域自立支援協議会 定例会

日 時 平成 21 年 11 月 10 日（火）

14 時 00 分から

会 場 天草地域振興局 大会議室

次 第

次第		所要 時間	時間帯	説明資料
	開 会	5	14 : 00～14 : 05	
1	第 1 回定例会からの経過報告について	35	14 : 05～14 : 40	資料 1 P1～P4
2	各専門部会の状況報告及び今後の展開について			資料 1
	（ 1 ） 地域生活部会	20	14 : 40～15 : 00	P 5～P10
	（ 2 ） 就労部会	20	15 : 00～15 : 20	P11～P13
	（ 3 ） 児童部会	20	15 : 20～15 : 40	P14～P18
3	意見交換	20	15 : 40～16 : 00	
	閉会		16 : 00	

※ 定例会終了後、相談支援事業所への相談の時間を設けます。

配付資料

- ・ 資料 1

1 第 1 回定例会からの経過報告

○平成 21 年度第 1 回定例会（5/28 開催）では、以下の内容を報告しました。

議題

（１）専門部会の状況（H21.5 月現在）を報告

【児童部会】

H18 年度からの既存の会議「移行支援ネットワーク会議」のメンバーが地域の中心的メンバーということでこの会議に合わせて児童部会を開催。定例会で出された課題を協議し、動き出したことを報告。

【地域生活部会】

地域の中での移動を取り上げて協議する予定であることを報告。

【就労部会】

部会のメンバーとして昨年度実施された「障害者就労支援ネットワーク事業」のメンバーを中心に、どのように進めるのがよいのか関係機関から意見を聞く情報交換会を予定し、早期立ち上げをしたいことを報告。

（２）協議会の今後の展開として

定例会での事例報告を待つばかりではなく、直ぐに話し合いの場が計画できそうなものから相談支援事業所が中心となって関係機関に呼びかけ会議を企画していく方法を新たに加えたことを説明。

※この第 1 回定例会の参加者に対しアンケートを実施。

（アンケート結果集計は、資料 P2、P3 のとおり）

○その後運営会議を随時開催

地域生活部会で「地域での移動」、就労部会では「意見交換会」を予定していましたが、できるところから企画して専門部会を開催し、「とりあえず動いてみよう！」ということになりました。

内容については、今までの定例会での事例報告や実施したアンケート結果の中から直ぐに取り組みそうなものを取り上げてそれぞれの部会で進めることにしました。

**※以上のような経緯を経て、それぞれの部会を開催しました。
現在までの状況についてそれぞれの部会から報告します。**

天草地域自立支援協議会（第1回定例会） アンケート集計

出席者	アンケート回収	回収率
33	26	78.8%

所属	1. 医療関係	2. 教育関係	3. 施設	4. 日中活動系	5. 居宅介護	6. 地活センター
	7. 雇用関係	8. 行政	9. 無回答			

I. 目的	1. わかっている	2. 大体わかっている	3. わからない	4. 無回答
-------	-----------	-------------	----------	--------

	所属	I. 目的
1	8	2
2	5	2
3	5	2
4	5	2
5	8	2
6	8	2
7	8	2
8	2	2
9	3	2
10	3	2
11	3	1
12	5	2
13	3	2
14	9	2
15	9	2
16	9	2
17	9	4
18	5	2
19	9	3
20	8	2
21	8	2
22	3	4
23	1	2
24	8	1
25	9	2
26	2	2

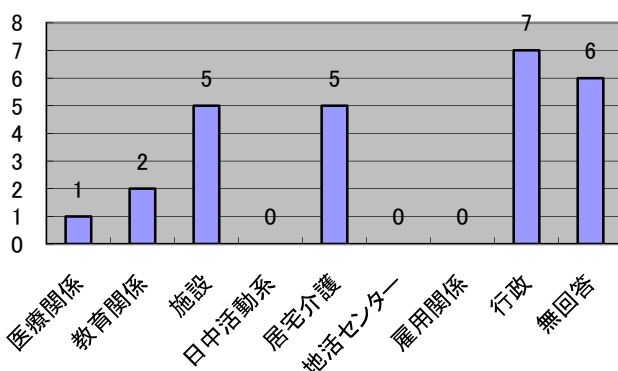
集計

所属	人数
医療関係	1
教育関係	2
施設	5
日中活動系	0
居宅介護	5
地活センター	0
雇用関係	0
行政	7
無回答	6
計	26

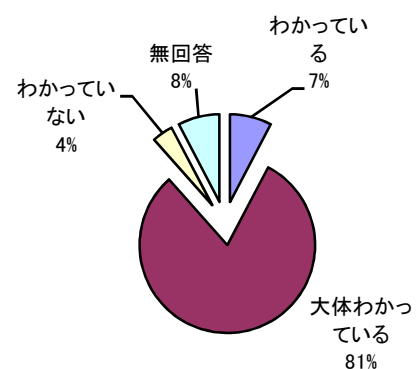
目的	人数
わかっている	2
大体わかっている	21
わからない	1
無回答	2
計	26

(わからない理由)
勤めてまだ日が短いので
わかっていない

(人) 参加者数(所属別)



自立支援協議会の目的



アンケート(自由記載分)

Ⅱ. 本日の定例会の説明についての質問等

①事例の報告会に終わっている状況。 事例ごとの課題についての意見の交換会はなされないのか。部会で検討された後だとは思いますが。	
※	A 個々のケースの課題については『個別支援会議』で協議します。
②専門部会のアンケート用紙ですが、例があればわかりやすいと思います	
③困難事例の報告を聞きたい	
A	今までは、定例会参加者の皆さんに相談支援事業所を含めた関係機関との連携を図るうえで参考になるような事例を主に報告していました。今後は困難事例も含めて地域の状況が共有できるようにしていきたいと思います。関係者の方からも、報告したい事例等あればご提出ください。
④協議会についての内容説明があればよい。後の方で説明があったので、後にわかったといった感じ。	
※	A 協議会については、前年度より説明をさせていただいているところです。ご理解いただきありがとうございます。

Ⅲ. 定例会に望むことや今後取り上げて欲しいことなど

①事例報告の中での解決していない事例については、課題として運営会議・全体会議での検討が必要だということを強く思いました。事例報告のみで終わらせて欲しくないと思います。	
※	A 個々のケースについては『個別支援会議』で協議します。また、地域の課題については、『運営会議』をとおり『専門部会』で議論を深めていきます。
②会に参加されていない関係者に対して、説明しやすいようなパンフレットの様なものを作成していただければと思います。	
A	定例会に必要な関係者の方をメンバーとさせていただいております。必要時、メンバーの方からの周知についてもご協力をお願いします。
③入所施設から地域移行した事例があります。残念ながら一年足らずで別の入所施設を利用することになったと間接的に聞きました。入所事業は地域へ行ってしまおうと関わりがなくなってしまうので、相談事業所の役割がもっと明確になれば失敗事例にならなかったと思います。地域の方に理解できる方法などの検討はいかがでしょうか。	
A	地域生活部会(専門部会)で検討しました。＊地域生活部会から状況報告で、詳細をご説明します。

Ⅳ. 天草地域自立支援協議会についての意見・要望 ＊()は所属

①昨年度に引き続き、今年度も参加させていただくことになったため「障害がある人が普通に暮らせる地域づくり」のために、自分たちの機関がどのように関わることができるか、再度考えていきたいと思っています。(行政)	
②第2はまゆう辻川さんからあったように、卒業後の働き口等をなんとかできるよう行政としてできることは何か考えていきたいです。お世話になりました。(行政)	
③市役所内でのメンバーも自立支援協議会の機能として権利擁護の部分もあるので社会福祉士の参加とか包括支援センター等の参加の検討は？(行政)	
A	定例会に必要な関係者の方をメンバーとさせていただいております。また、課題に応じ専門部会への参加協力をお願いしています。
④自閉症を持たれている方への対応方法についての研修を開催してほしいです (施設)	
A	検討を進めています。 ＊児童部会から状況報告で、詳細をご説明します
⑤協議会であがってきた事例についての具体的な解決案について、行政としての取り組みの中で事業所への依頼も含め能動的に動いていただきたい。サービスを構築するのは施設の移行が進んでいく今がチャンスだと思います。(不明)	
A	今後企画していくものの一つとして検討を進めています。
⑥事例報告については、事例を関係者から吸い上げることは困難と思いますが、その要因として自分たちが持ち込んだ事例へいつどのように対応してもらえるか、明確な答えがあれば事例も出やすいのではないかと思います。(不明)	
※	A 悩まれている事例等があれば、各相談支援事業所へお気軽にご相談ください。
⑦それぞれの施設・機関の現状・課題などを報告しあい共有してみたい。そういうところから、地域の課題なども出てきませんか。	
※	A 『個別支援会議』や『定例会』等で顔を合わせる機会が増えることによって現状の共有や検討がおのずとできればと考えています。会議開催等についても、各相談支援事業所へお気軽にご相談ください。
⑧児童部会についての辻川様の説明に資料がほしかった。(医療関係)	
A	次回から資料を作成します。
⑨参加して少しずつわかっている部分があるので、今後何かあれば質問等させていただきます。(教育関係)	

※については、別紙組織図も参考にしてください。

天草地域自立支援協議会

障害のある人が普通に暮らせる地域づくりを目指す

市町・県等へ提案

全体会議

・地域関係者に対する普及啓発、地域関係者との課題

報告

提案

運営会議

・協議会全体の方向性や日程等について核となるメンバーで協議、定例会の準備等。

課題等

報告・提案

専門部会

・専門分野における継続的な調査検討、研究、連絡調整、課題別検討会等議論を深める

児童部会

就労部会

地域生活部会

困難事例部会

※ 必要に応じて専門部会を追加、分化、統合していく。

※ また、必要に応じてメンバーの追加や入れ替えも随時行う。

集約

報告

定例会

・相談支援事業者の報告を中心とした地域の現状・課題等について、地域の関係者で定期的に情報を共有する。(報告会)

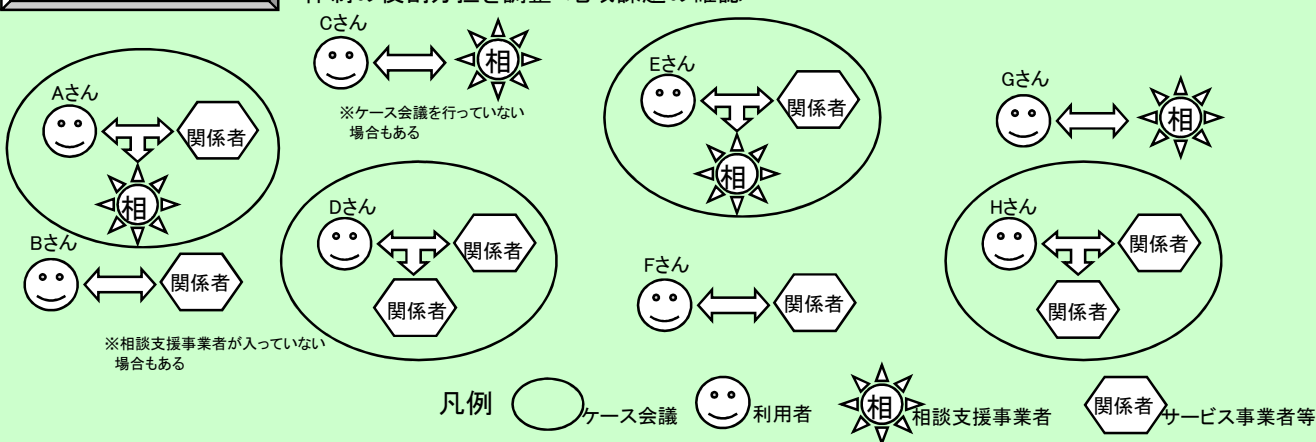
支援上の

報告・提案

報告・支援

個別支援会議等

・個人の課題を解決するため、個別支援計画、支援体制の役割分担を調整・地域課題の確認



※相談支援事業所を中心に関係機関と話し合う場を企画して地域の課題やニーズの把握に努めることをH21.5.28開催の定例会以降、新たに加える。

2 各専門部会の状況報告及び今後の展開について

地域生活部会報告

前回の5月28日の定例会議で行ったアンケート調査の中で↓

・入所施設から地域移行された事例があります。残念ながら一年足らずで別の入所施設を利用することになったと間接的に聞きました。入所事業は地域へ行ってしまおうと関わりがなくなってしまうので、相談事業の役割がもっと明確になれば失敗事例にならなかったと思います。地域の方に理解できる方法などの検討はいかがでしょうか。

以上の意見をもとに地域生活部会としても入所施設又は病院から地域へ移行する際に問題があると考え、「地域移行」という部分から取り組んでいくこととした。

7月21日 第1回地域生活部会を開催

まずは入所サービスを行っている施設の方、病院の方に集まって頂き、「地域移行」について説明（資料6ページ）、また意見交換を行った。その中で見えてきた課題として病院・入所施設からの退院・退所する過程でもっと多くの関係者と連携を取ることが大切であることがわかってきた。

そのことから退院・退所前に個別支援会議を行い地域へ帰られてからの支援体制を事前に作っておく為の、一連の流れをつくる必要があるとの話になった。

9月17日 第2回地域生活部会を開催

問題点として上げられる退院・退所され地域へ移行する中での「移行に向けた準備」（資料7ページ）について、一連の流れをシステム化することとし、地域移行支援会議マニュアル（資料8ページ）を作成した。重要視したのは、個別支援会議を依頼する事業所への負担を極力減らし、個別支援会議が容易に開催できるようにした。

結果的にこの一連の流れを作っておくことで入院・入所中から関係機関が連携を取り、地域移行された後すぐに地域での支援体制が整えられ、その人への支援が途切れることなく継続していくことが見込まれる。

今後取り組んでいくこと

※居住の問題

地域移行を行われた方にとってまず必要になることは居住の確保である。現在、家庭の事情で自宅に帰れなかったり、グループホーム等の空きがなかったりなど地域で生活したくてもできないという問題が上がっている。この居住の問題について早急に取り組んでいくこととする。

※移動の問題

居住を確保してもその後のサービス等をうまく利用していかなければ安定した生活は見込められないと考えられる。そのための移動の問題についても取り組んでいくこととする。

地域移行の支援体制について

『地域移行』について・・・

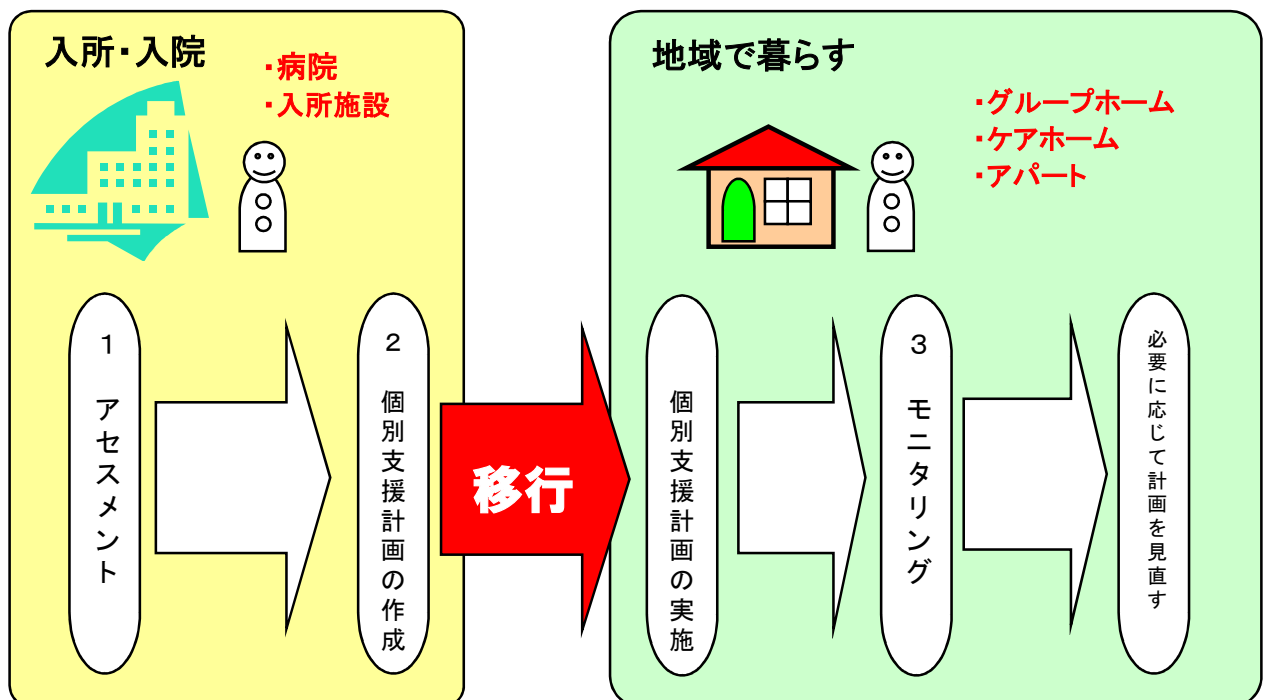
施設生活を基本としたこれまでの支援から、個別性を重視したそれぞれの生活を基盤に必要な支援を受けながら、自己実現を形づくる支援が求められています。

特に長きにわたり入所、入院をされている方の地域移行は、障害者自立支援法のひとつの柱になっています。

具体的な生活のイメージづくりから始まり、個々の適正にあった日中活動の場の保障、グループホームやケアホームといった支援を受けながらの暮らしから一人暮らしまで生活全般にわたるきめ細やかな対応が求められています。

その受け皿となる地域の実態把握と支援体制づくりについても、それぞれのサービス提供事業者等とネットワークをつくり、情報の共有と課題の整理を丹念に行い、支援体制を構築していく必要があると考えられます。

(地域移行のフロー図)



<アセスメント>

手段: 面談等、**聴き取り**

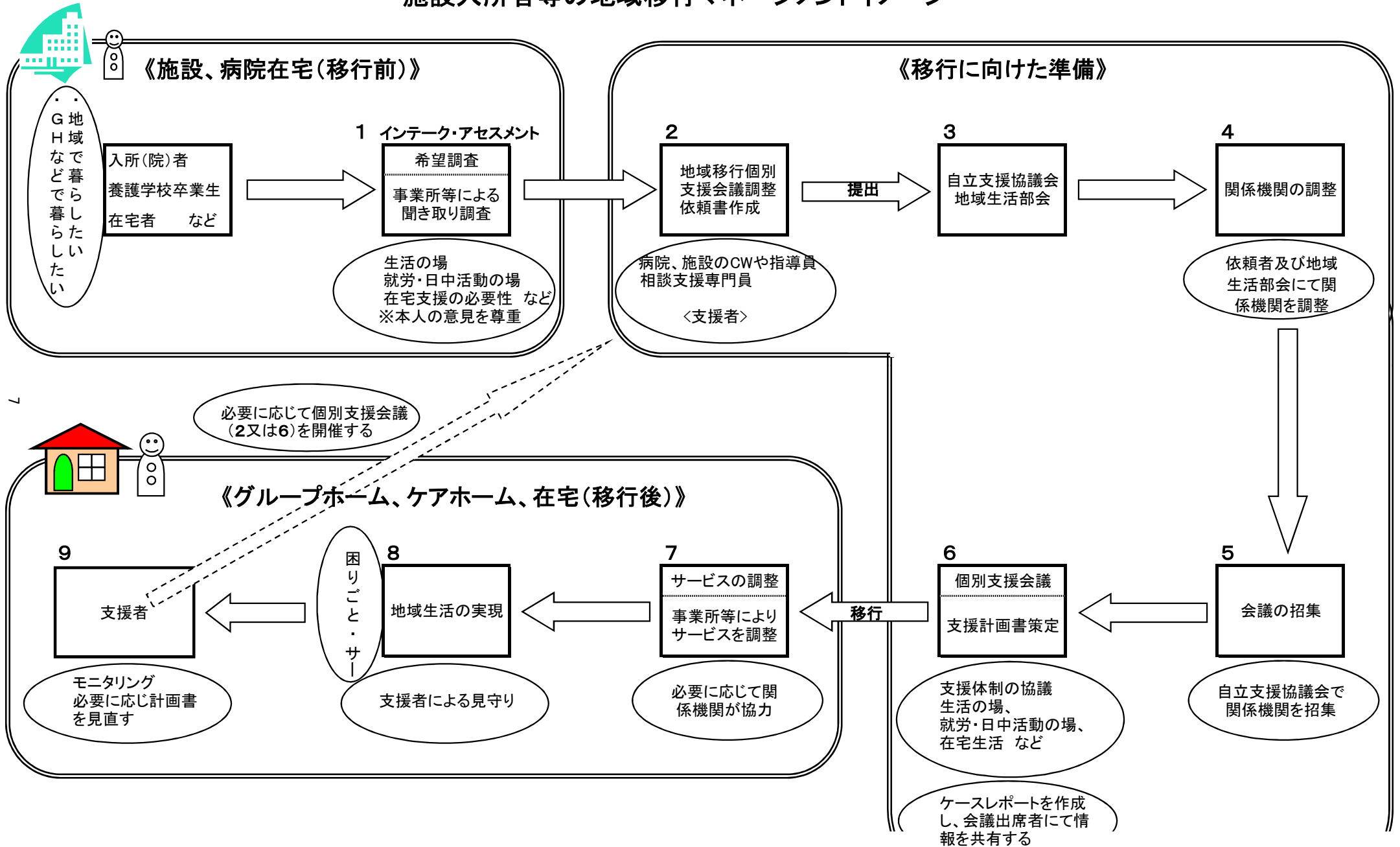
<支援決定プロセス>

手段: 支援計画作成に必要な関係機関と協力する。

<モニタリング>

家庭訪問・面談、個別支援会議、関係機関との連絡調整

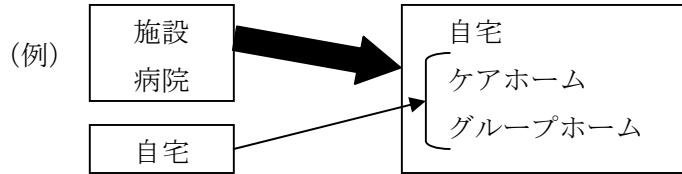
施設入所者等の地域移行マネジメントイメージ



地域移行個別支援会議マニュアル

天草地域自立支援協議会（地域生活部会）

1. 対象：地域移行するケース



※地域移行以外の対象者で個別支援会議を希望する場合は、事務局へ相談する

2. 流れ

(1) 個別支援会議の必要がある場合は、『依頼書（別紙）』を市に提出する

地域移行個別支援会議調整依頼書			
平成 年 月 日			
会長 様			
ス検討会議の開催を調整して下さるよう依頼します。			
記			
氏 名		性 別	男 ・ 女
生年月日（年齢）	T・S・H	年 月 日	（ 歳 ）
住 所			
障害種別	☐ 身体 ☐ 知的 ☐ 精神 ☐ その他（ ）		
現 状			
地域移行の内容	☐ 施設 ☐ 病院 ☐ その他（ ） ☐ 自宅 ☐ アパート ☐ グループホーム		
困りごと（課題など）			
召集してほしい関係機関			
会議開催の希望時期	平成 年 月 日		
機 関 名： _____			
連 絡 先： _____			
担 当 者： _____			

※現状等については、簡潔にまとめて記入する

※依頼書を FAX やメールで送付する場合は、個人情報にかかる部分を省き送付し、電話にて担当者間で確認する。

※依頼書は事務局（市町）へ提出する。

(2) 関係機関を召集し、会議を開催する

(3) 相談支援事業所は、会議開催後に『レポート（別紙）』を作成する

依頼書提出・問い合わせ先（事務局）

- 天草市市役所 社会福祉課
天草市東浜町 8-1 TEL 0969-23-1111
- 上天草市役所 福祉課
上天草市松島町合津 3538-3
TEL 0969-56-1111
- 苓北町役場 福祉保健課
天草郡苓北町志岐 660 TEL 0969-35-1111

地域移行個別支援会議ケースレポート	
相談支援	
開催年月日：平成 年 月 日	
出席機関	本人・家族・相談支援事業者・サーム民生委員・区長・警察・行政（ ） その他（ ）
依頼者	
ケース概要（利用者の状況等）	
検討した課題・問題点	
検討結果	
対応方法	
担当者会議での共有事項	

レポート

地域移行個別支援会議調整依頼書

平成 年 月 日

天草地域自立支援協議会長 様

下記の内容でケース検討会議の開催を調整して下さるよう依頼します。

記

氏 名		性 別	男 ・ 女
生年月日（年齢）	T・S・H 年 月 日 （ 歳）		
住 所			
障害種別 （分かる範囲で）	☐ 身体 ☐ 知的 ☐ 精神 ☐ その他（ ）		
現 状 （簡潔に）			
地域移行の内容	☐施設 ☐病院 ☐その他（ ） ➡ ☐自宅 ☐アパート ☐グループホーム		
困りごと （課題など）			
召集してほしい 関係機関 （分かる範囲で）			
会議開催 の希望時期	平成 年 月 日		

*依頼書を FAX やメールで提出される場合は、個人情報にかかるとは、空欄で提出ください。（提出後、担当者間で確認します。）

機関名：_____

連絡先：_____

担当者：_____

地域移行個別支援会議ケースレポート

相談支援事業者名：_____

開催年月日：平成 年 月 日

出席機関	本人・家族・相談支援事業者・サービス事業者・施設・医療機関 民生委員・区長・警察・行政（ ） その他（ ）
------	---

依頼者	
ケース概要 (利用者の状況等)	
検討した課題・ 問題点	

検討結果	
対応方法	
担当者会議での共有事項	

平成21年度 天草地域自立支援協議会 就労部会報告

1) はじめに

天草地域自立支援協議会就労部会では、障がいのある方が就労生活を行っていく上での課題解決に向けて協議していきます。そのために部会として、地域の課題を待っているばかりでなく、こちらから積極的に企画し、呼びかけ、課題等の把握をしていきます。今年度は、「就労支援ガイド」の作成を就労部会で行います。

2) 就労部会構成メンバーについて

構成メンバーは、19年度から実施されています「障害者就労支援ネットワーク事業」のメンバーにご協力をいただいています。課題等に応じてメンバーの追加等はその都度行います。

3) 活動報告

【第一回就労部会】平成21年8月5日（水）

・就労支援ガイドについて

今年度、企画の一つとして就労部会で就労支援ガイドを作成することを事務局が提案し、就労部会のメンバーの了承を得て進めました。（趣旨の説明、様式や記載内容等の協議）

・アンケート回収

第一回就労部会開催時に、就労支援に関するアンケートを実施。

アンケートの結果を受けて今後の進め方を検討していく事を報告。

【第二回就労部会】平成21年9月17日（木）

・就労支援ガイドについて

現在提出していただいた分で、様式や記載内容等の再確認作業を行う。又、ガイドの中に地域活動支援センターも掲載することとしました。

・グループワーク

第一回就労部会でのアンケートを受けて、今後の課題となりそうな3点（職場開拓、定着支援、障害の理解）のテーマを掲げ、どのような事ができるか、グループワークでの協議を行った。

4) 今後の活動について

- ・定例会や個別支援会議等であげられた課題は、随時、協議をしていきます。
- ・就労支援ガイドを仕上げ、各関係機関への配布を行います。
- ・グループワークで出てきた意見をヒントに、今後取り組んでいくことを企画していきます。

例えば → 一般企業への障がい者雇用のアプローチ（職場開拓）

在宅障がい者の余暇支援（定着支援）

支援者の為の研修会（障がいの理解）

など・・・

事業名：

写 真	写 真
-----	-----

法人名				管理者名	
事業所名					
住 所					
電話番号		FAX		E-mail	
対象者	身体・知的・精神・その他				
利用日 (原則)	月曜日～金曜日 (休日：土、日、祝祭日)		利用時間 (原則)		午前08時30分～午後05時30分
定 員	人		月額工賃		
平均利用者数	人				
送 迎	有・無	送迎 料金	有料 無料	円	送迎範囲
事業内容					
P R					

平成 年 月現在

就労支援ガイド掲載機関

NO	団体・事業署名	就労 移行 支援	就労 継続 A	就労 継続 B	授産 施設	地活動	小規模 作業所	就労 支援 団体
1	天草公共職業安定所							○
2	熊本県立天草養護学校							○
3	熊本県高齢・障害者雇用支援協会							○
4	苓南寮	○		○				
5	天草更生園				○			
6	湧水の里						○	○
7	第二苓山寮				○			
8	かしの木学園				○			
9	本渡通勤寮							○
10	やじろべえ			○				
11	みやおみやおベーカリー			○				
12	アナザーページ			○				
13	八百すて			○				
14	すとりーはっと		○					
15	障害者支援センターのぞみ			○				
16	天草ポランの広場	○		○				
17	NPO法人 ワークショップひなたぼっこ					○		
18	NPO法人 ひだまりの家					○		
19	NPO法人 天草きぼうの家					○		
20	NPO法人 河浦きぼうの家					○		
21	交流の里 どんぐり村					○		
22	地域活動支援センター ひまわりの家					○		
23	星光園 相談支援事業所ほほえみ							○
24	グリーン							○
25	はまゆう療育園							○

自立支援協議会 児童部会 報告

課題解決への取り組み 【1】

平成20年度 第三回定例会(3月24日)の事例報告より

親の会「ピチピチなかま」の保護者から

- ① 今年度から保護者が中心となり活動しているが、限界がある。現在は、牛深支所の保健福祉課の協力があり活動している。今後の活動のあり方について行政の支援をお願いしたいのだが、調整を自分たちだけではどうしていいか分からない。
- ② 牛深地区においても障がい者・児が利用できる場所が欲しい。
という課題があげられました。

対応の経過報告

『ピチピチなかま』について

天草市 社会福祉課

1. H20年度までの経緯

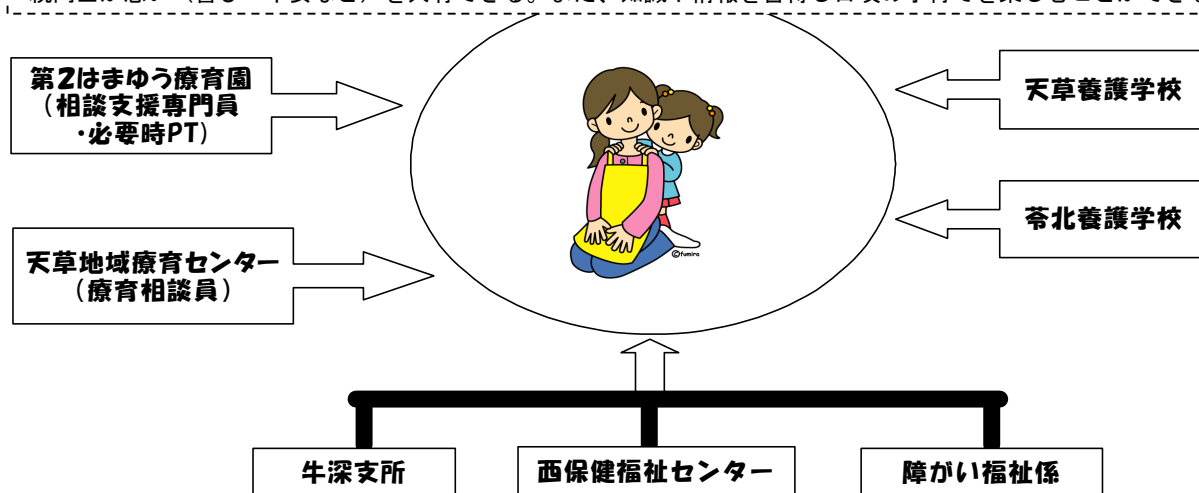
H4～6	在宅障害児指導事業（モデル事業） 熊本県総合相談所により、旧牛深市の子どもたちへの療育を実施。
H7～8	モデル事業終了のため、はまゆう療育園スタッフが中心となり療育を実施。
H9～14	はまゆう療育園による療育が困難となり、養護学校教諭の参加を依頼。はまゆう療育園からは保育士のみ参加。事務局が福祉事務所となる。
H15～17	対象児の参加が就学等により無くなり、療育的要素はなくなったため、 <u>親の会へ移行</u> 。
H18～19	市町村合併により牛深支所健康福祉課が事務局となり、保護者・スタッフ等の連絡調整を行う。
H20	保護者の会として運営していくため、会長・副会長に当日の進行や保護者間の連絡調整を委任。スタッフへの連絡や会場借り上げは健康福祉課が担当する。

2. 今年度（H21 年度）の取り組み

5 月 行政での話し合い	今までの経過も含め、各部署の意見交換と今後の方針について検討。 【牛深支所・西保健福祉センター・本庁障がい福祉係】
5 月 保護者との話し合い	保護者の思い（今まで・現在・今後について）を確認。 【保護者。行政からは保健師と相談員。】
6 月 行政での話し合い	保護者の思いを共有。再度、市の方針について検討。 方針①親の会として継続できるよう、行政も支援していく ②今年度は自主組織の育成も重視し、保健師を中心に支援する ③企画の段階から一緒にしていく
6 月 保護者との話し合い	市の方針について報告。今後の活動について共有を図る。 【保護者。行政からは各部署から各担当】
7 月 ピチピチなかま	前半：保護者で座談会（今後の活動について計画） 後半：行政も加わり座談会
8 月 ピチピチなかま	交流会（体育館を借りて、親子でレクレーションの実施）
10 月 ピチピチなかま	座談会（8 月のレクレーションの反省や今後の予定の話し合い）
12 月 予定	親子の交流会

ピチピチなかま 支援イメージ図

親同士が思い（喜び・不安など）を共有できる。また、知識や情報を習得し日頃の子育てを楽しむことができる。



課題解決への取り組み 【2】

平成21年度 第1回定例会（5月28日）の事例報告より

10歳代の自閉症の子どもさんがおられる保護者の方から

- ① 学齢期の発達障がい・自閉症児を放課後や夏休みなどの学校が休みの時間に受け入れていただける事業所が天草圏域にはほとんどない為、家族だけで抱えているがとても大変
- ② いま、発達障がい・自閉症の児童生徒が増えているのが現状であるが、この子ども達が卒業後社会に出て行くときに、地域社会または天草圏域内の事業所の方々の発達障がい・自閉症への理解が、身体障がいや知的障がいの方々への理解に比べてまだ十分ではないところが多い

という課題があげられました。

対応の経過報告

6月11日 天草地域療育ネットワーク会議・担当国会議において、幼児児童生徒における療育支援体制の課題について話し合われましたが、あわせて家庭の支援およびその子供たちが社会に出たときの受け入れ態勢の課題について、本年度第1回自立支援協議会定例会にて事例発表がなされたと課題提起する。

そこで、天草圏域の施設事業所対象に、発達障がい・自閉症に関して、その障がい特性と対応方法などを知っていただく為に、また受け入れ態勢の検討、受け入れ対象児・者の拡大に向けて研修を行う事が検討される

それに先立ち、まず「障がい児の保護者が抱える、障がい別・年齢別・地域別 ニーズの調査」を行う事が検討される

7月17日 上天草市移行支援ネットワーク・自立支援協議会児童部会にて上記課題についてこれまでの経緯を報告し、「障がい児の保護者が抱える、障がい別・年齢別・地域別 ニーズの調査」のアンケート実施に向けて、実施の為の趣旨説明と協力体制に関しての協議を行う。

7月23日 天草市移行支援ネットワーク・自立支援協議会児童部会にてこれまでの経緯を報告し、「障がい児の保護者が抱える、障がい別・年齢別・地域別 ニーズの調査」のアンケート実施に向けて、実施の為の趣旨説明と協力体制に関しての協議を行う。

9月15日 天草地域療育ネットワーク会議・担当国会議において
アンケート内容と実施方法、回収・集計の協議決定を行う

10月より実施し、H22年1月にその集計をもとに天草地域療育ネットワーク会議・担当

者会議を行う予定。その後年度内に事業所対象の研修にて、地域のニーズの説明と発達障がい・自閉症の研修を行う

その他、児童部会にて報告・検討された内容

7月17日 上天草市移行支援ネットワーク・自立支援協議会児童部会にて

○ 保育園訪問の実施に伴う状況について

毎年5～6月に、教育委員会・保健師・療育相談員・相談支援専門員の連携の下で保育園訪問を行い、主に就学前児についての巡回相談を行っている。全園を巡回した後の今年度の課題と対応策についての検討

○ 自立支援協議会 第2回定例会の児童関係事例報告と、その対策に関して

地域振興局保健福祉環境部より、天草地域療育ネットワーク会議・担当者会（6月11日実施）の報告 ・ ・ 天草地域療育における課題に関して ・ ・

9月18日 天草市移行支援ネットワーク・自立支援協議会児童部会にて

○ 天草地域療育の課題について

地域振興局保健福祉環境部より、天草地域療育担当者会議（9月15日実施）の報告

①社会資源が少ない地域の療育体制をどうするか

②社会資源そのものが少ない

③保育園（幼稚園）との連携、園と保健師・療育機関との連携

○ 保育要録 進捗状況

天草市立佐伊津保育所・子育て支援課からの報告

○ 5歳児健診の進捗状況

天草市健康増進課天草中央保健センターからの報告